

## 令和5年度 地域きずな座談会 ④

- 1 日 時 令和6年2月14日(水)
- 2 場 所 日の出集会所
- 3 出席者 松原、南町、泉町、日の出  
(住民12名、三沢介護支援センター2名、三沢市介護福祉課2名、社協4名)
- 4 懇談記録

### ■地域の現状・よいところ

- ・新しい家が建ってきているので若い人たちが増えるのが楽しみだ。毎年、クリーン作戦、その後お楽しみ会を開催している
- ・町内会は平成3年に結成され、もうじき結成35周年を迎える。町内会世帯数は180程。アパートが増え、準会員が増えてきている。  
町内の行事としては春のクリーン作戦、夏祭り、バーベキュー、コロナでできていなかった視察研修などがある。
- ・一人暮らしの方の安否確認等、町内でできているところもあり、とてもよい町内だと感じる。
- ・1~4丁目まであり、500世帯程あり、町内会へ加入しているのは180世帯ほどである。新年会、忘年会、納涼会、子供育成会のクリスマスパーティー、新年のお祝い会等様々な行事を開催している。
- ・町内会は40世帯。新年会、バーベキュー、春秋にクリーン作戦等の行事を開催している。

### ■地域の交流・集いの場

#### ○集いの場

- ・日の出町内会には、いきいき教室、ゆうあいクラブ、ふれあいクラブ、子ども部会とあり、現在ゆうあいクラブ(老人クラブ)の活動が盛んである。ポッチャやグランドゴルフを楽しんでいる。ポッチャを購入してもらったので週3回やろうと決まった。
- ・近隣の町内と交流会をしてみたい
- ・コロナ禍で寺子屋の活動がなくなった地域があるが、他に集いの場、活動できる場があるというのはとても良いことである。
- ・老人クラブも寺子屋も参加者がほぼ同じということもあり、週にいくつも活動があると、参加者から大変だという声も出てくる。
- ・クラブで集まってトランプゲームやゲートボール、グランドゴルフ等活動しているが、ゴニンカンはなかなか白熱して楽しんでやっている。

- ・ゲートボールはチーム戦なので結果によっては喧嘩になることもあり、気を遣うこともある。それに比べグランドゴルフは個人戦なので気を使うことなく楽しめている。
- ・子ども達と一緒に本を読んだり、ふれあえるイベントをしたい。場所には恵まれているし、そのような活動から子ども達のことを知っていき、親御さんから申込書を書いてもらう事により、情報やつながりができていけばよい。

## ○寺子屋

- ・泉町地区寺子屋の活動は年 35 回程。フレイルの勉強会をしたり、様々な活動をしているが、一番楽しまれているのは生バンドでカラオケを歌う生オケ演奏会である。食べ物を作るときも参加者は多い。
- ・参加費をもらってゲームの景品、お菓子代にあてている。
- ・温泉バスを利用し温泉に行き、トランプをする日は参加者が多い。最近の利用者が少なくなっていて、他町内の団体も活用して行ってほしい。
- ・皆が参加しやすいように寺子屋の活動内容、年間行事を町内全部に回している。

## ○ラジオ体操

- ・夏休みのラジオ体操の時は、町内会長も毎朝顔を出し、子ども達の元気な挨拶がきこえる。最後に景品を渡している。子ども達がいきいきしている。
- ・夏休みに、6時30分から町内でラジオ体操をやっているが、小学校で7時からラジオ体操を実施しているため、町内会以外の子は素通りして学校に行く。
- ・町内会の子ども達には最終日にプレゼントを渡すが、他の子ども達にも声をかけている。
  - 町内会以外の子どもにも景品を渡そうとしたが、親御さんに止められているのか、町内会以外の子どもには断られる。「夏休みにラジオ体操をするので、大人も一緒に参加してください」と、文書をまわしている。

## ■地域の困りごと、課題

### ○見守り

- ・町内の高齢者が突然いなくなることがあり、話を聞くと病院に入院したとか、施設に入所していたということがあった。一人暮らしの高齢者をどうやって見守っていくかが課題である。
  - 回覧板や広報を回す関係もあるので、施設入所や転居の情報をもらえるとありがたい。
  - 気になることがあった時は、一度社協までご相談ください。

- ・民生委員として、一人暮らし高齢者の名簿と地図をチェックしながら動いているが、全てを把握するのは難しい。また、他のリスト（この時は社協からの）が来た時に、情報に違いがあり、どちらが新しいものなのかわからなかった。
- ・高齢者が朝のゴミ出しの帰りに、右折車と接触し怪我をしてしまった。時間帯によっては交通量が増えるので、心配である。
- ・町内会に入っていない世帯の情報をどうやって把握するのか。会員の情報は分かるが、それ以外の人の情報がない。  
→自主防災の名簿を作る際、災害時、名簿に名前がなければ助けようがないという話をした結果、情報を提供してくれた方もいた。
- ・ブラウン管テレビの不法投棄や、捨て置き自転車等があり、警察に連絡したが、その後どうなったのかがわからない。また、パトカー等が多数出動していて町内で事件があった様子だったが、住民には何も伝えられない。

### ○町内会について

- ・町内会清掃時、側溝の掃除もするが、町内会に加入しない外国人の家の前もやらなければいけない状況である。町内の草刈りをやるにもお金がかかる。大家さんが家賃から町内会費を払うシステムができればよいのだが。  
→話をして払ってくれる大家さんもいるが、間に不動産屋が入っていると、不動産屋から規約にないのでと断られる。
- ・町内会費について、税金を払っているから町内会費は払わない等、様々な理由で協力してもらえないこともある。
- ・住宅取得支援事業助成金の関係で、新しく家を建てた人たちは、町内会の加入証明書が必要なため、町内会に加入する傾向である。  
→詳細は市のホームページで確認できる。（担当課：政策調整課）
- ・町内会として、地域の新一年生が何人いるのか知りたい。  
→社協では名簿はない。市役所では情報は出せない。学校と町内との関係もある。

### ○町内会の正会員・準会員について

- ・準会員との交流等がどのようにしたらスムーズにいくか考えている。以前は準会員も町内会行事に参加していた、借家住まいだった方が、町内会が楽しかったと、日の出に家を建ててくれたことが非常にうれしかった。
- ・正会員には募金や、寄付の案内を回すが、準会員には回さない。協力金だけもらっている。
- ・準会員でも広報には様々な情報が載っているので広報だけは配布するようにしている。  
→今後、準会員が増えて正会員がいなくなったら、町内会費が入らなくなってくる。正会員ではない人に災害時等、町内会として手を貸せるのか。

- ・町内会行事をやったときに正会員の方には回覧板で案内を回して出欠確認をしていたが、当日、正会員以外の子どもが来て参加していった。プレゼントを人数分しか用意しておらず、急遽追加して対応した。  
ラジオ体操の景品も同じく、正会員の子どもの景品を用意しているため、今は臨機応変に対応しているが、今後問題になってくると思われる。

## ■その他

- ・年々視野が狭くなる為か、限られたことしかできなくなってしまう。楽しかった時代、何が楽しかったか、それを忘れてはいけないのではないか。
- ・草刈り等に参加した子ども達を地域の大人達がほめてあげることが大事である。
- ・挨拶運動を行っているが、腕章やベストを着ていないと無視されてしまう。  
→腕章を生活安全課から借りることができる。
- ・以前、緊急時医療情報キッドというものがあつたが、今はどうなっているのか。  
→現在も継続している。避難行動要支援者名簿に登録された方にも配っている。

## ■避難行動要支援者名簿と個別避難計画について、介護福祉課より別紙資料にて説明。